

この活動は、子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受けて行いました

五感で楽しむ里山の夏
自然体験キャンプ
@
なみ滝藤原園

平成24年8月16日(金) ～ 19日(日)



虚空蔵山山頂

もく てき
【目 的】

1. 自然の美しさや不思議さを感じる五感を磨き、感動する心や創造性を育てる
2. 準備から片付けまで子どもたちが行い、忍耐力、行動力、生きる力を養う

にち じ
【日 時】

8月16日(木) 午前9時30分～8月19日(日) 午後2時

ば しょ
【場 所】

なみ 滝藤原園 〒739-0262 東広島市志和町志和東 988-19

かつどうないよう
【活動内容】

竹のクラフト、テント設営、山登り、自然観察、キャンプレクリエーション、釣り、
いかだ遊び、キャンプファイヤー、野外料理

し どう
【指 導】

ぜんたい 全体指導	にしむらきよみ 西村清巳				
かつどう 活動指導	くにまさゆうや 國政悠也	わ せ だ か ず ひ ろ 早稲田和宏	さ さ き ち え 佐々木千恵	くわはらしょうこ 桑原晶子	
	ますだげんき 栢田元気	しんばら ゆ き 新原悠紀	とくみつりさ 徳満里沙	あかぎまさし 赤木優志	ひがきともき 檜垣友来

プログラム

日	時	
8月16日	9:30	オリエンテーション、 ^{じゆんび} 準備
	10:00	竹のクラフト：はし&コップづくり
	12:00	^{ちゆうしょく} 昼食準備、 ^{あとかたづ} 昼食、後片付け
	14:30	テント ^は 張り
	16:30	^{ゆうしょく} 夕食準備、夕食、後片付け
	19:30	キャンプファイヤーレク ^{れんしゅう} 練習
	20:30	シャワー
	21:00	^{しゅうしん} 就寝準備、就寝
8月17日	6:00	^{きしょう} 起床
	6:30	ラジオ ^{たいそう} 体操
	6:45	^{しょくぶつ} 植物の話
	7:00	^{ちようしょく} 朝食 & 昼食準備、朝食、後片付け
	9:30	^{こくうぞうやまとざん} 虚空蔵山登山
	14:30	^{きゆうけい} 休憩、キャンプファイヤーレク練習
	15:30	^{なみたきじさんばい} 並滝寺参拝 & ^{にゅうよく} 入浴
	17:00	夕食準備、夕食、後片付け
	19:00	キャンプファイヤーレク練習
	21:30	就寝

8月18日	6:00	きしょう 起床
	6:30	ラジオ体操
	6:45	しょくぶつ 植物の話
	7:00	ちょうしょくじゅんび、朝食、あとかたづ 朝食準備、朝食、後片付け
	9:00	つ 釣り大会
	11:30	ちゅうしょく 昼食準備、昼食、後片付け
	14:30	あそび、キャンプファイヤーレク ^{れんしゅう} いかだ遊び、キャンプファイヤーレク練習
	16:00	ゆうしょく 夕食準備、夕食、後片付け
	19:00	キャンプファイヤーリハーサル
	19:30	キャンプファイヤー、スタンプコンテスト
	21:00	シャワー
22:00	しゅうしん 就寝	
8月19日	6:00	起床
	6:30	ラジオ体操
	6:45	植物の話
	7:00	朝食&昼食準備、朝食
	9:30	後片付け、調理用具&食器の返却 ^{ちょうりようぐ しょつき へんきかく}
	11:30	そうじ、テント撤収 ^{てっしゅう}
	12:30	昼食
	13:30	終わりの会
	14:00	かいさん 解散

や がい りょう り 野 外 料 理

よるこ かんしゃ うやま も
喜びと感謝と 敬いの心を持っておいしくいただきました

	ちようしよく 朝食	ちゆうしよく 昼食	おやつ	ゆうしよく 夕食
8月16日		そうめん  ぶどう	チュウチュウ 	ごはん ハヤシライス マカロニサラダ 
8月17日	ごはん みそしる 味噌汁  やさしいた 野菜炒め	さんぞく 山賊むすび ソーセージ とり 鶏からあげ 	スイカ 	スパゲティ 野菜スープ 
8月18日	サンドイッチ コーンスープ ヨーグルト 	キーマカレー ナン 野菜サラダ 	アイスクリーム 	なみたき 並滝なべ 
8月19日	ごはん 味噌汁 ハムエッグ 	おにぎり てや 照り焼きチキン キュウリ 魚肉ソーセージ	チュウチュウ 	

さいしょ さいご 最初から最後まで

最初から最後まで粘り強くやり遂げる経験を重ね、生きる力と自信を育てる

1. テント

テント張りも片付けも、先生にお手本を見せてもらってから皆で協力してやりました。「テントの張り方」が勉強になったとのこと。



テント張り



テントの片付け

2. 生活

キャンプで使うテーブルとベンチ、調理台の用意と片付けをしました。最終日には、キャンプ中に使った、流し台、トイレ、シャワー、広場をきれいに掃除しました。



テーブル・ベンチ、調理台の用意



テーブル・ベンチ、調理台の片付け



掃除

3. 野外料理

料理を作っておしくいただいた後は、きれいに洗って片付けます。食器・調理用具の返却前にはチェックをし、きれいになるまでやり直してもらいました。そんなわけで、「後片付けがきびしかった」そうです。



調理



後片付け



恐怖の食器・調理用具チェック

しぜん かんどう 自然に感動

自然の不思議さや美しさをを感じる五感と心を磨き、自然と共生していくための知恵や技術を育てる

1. 竹のクラフト

ノコ、小刀、ナタの使いかたを教えてもらい、キャンプ中に使うコップとはしを作りました。



竹切り



竹のコップづくり



竹のはしづくり

2. 虚空蔵山登り

標高666.1メートルの虚空蔵山に、植物を見たり味わったりしながら約1時間半かけて登りました。「頂上まで登れた」達成感と「頂上からのきれいな景色」に感動を味わいました。



登山中



山頂からのながめ



タムシバを味わう

3. ブラックバス&ブルーギル釣り

餌にするミミズや幼虫を集め、ブラックバスとブルーギル釣りをしました。「初めての釣りで魚が釣れたこと」に感動したとか。ブルーギルは南蛮漬けにして食べました。



ミミズ掘り



ブラックバス・ブルーギル釣り



ブルーギルの南蛮漬け

ゆうじょう ゆうき じょうねつ 友情・勇気・情熱・思いやり

そうぞうせい
創造性、やる気、チームの連帯感を 育む

1. 遊び

野外レクリエーションの歌や踊りを教えてもらい、キャンプファイヤーがより楽しくなるよう空いた時間を使って練習しました。とても楽しそうに見えるいかだ遊び。なかなか思うように進んでくれません。「力を合わせていかだをこぐこと」の大切さを学びました。



野外レクリエーション



いかだ遊び



自主練習

2. キャンプファイヤー

キャンプファイヤーはキャンプ中の様々な活動で育んだ友情を確かめあう場です。オープニングセレモニー、ボンファイヤー、クロージングセレモニーで構成されます。ボンファイヤーでは班ごとにスタンツ（出し物）を披露しました。クロージングセレモニーで「みんなのろうそくに火がともってきれいだった」ことに感動したそうです。キャンプファイヤー終了後、ろうそくの火を囲んでキャンプを振り返りました。



ボンファイヤー



クロージングセレモニー



キャンプ楽しかった？

3. 終わりの会

キャンプファイヤーのスタンツコンテストの結果発表。内容と完成度の高さから優勝は1班。アイデアが良かった2班がスイカ割り賞をもらいました。しめくくりはチクサクコールでみんなの連帯感を高めました。



とっても盛り上がったスイカ割り



チクサクコール

キャンプファイヤープログラム

オープニングセレモニー（儀式）

1. 入場
2. 遠き山に日は落ちて
3. 聖火入場
4. 点火のことば
5. 点火
6. 燃えろよ燃えろ
7. 営火長のことば

ボンファイヤー（お祭り）

8. 大きな歌
9. 山賊の歌
10. 1班スタンツ
11. キャンプだホイ
12. 2班スタンツ
13. 南の島のハメハメハ大王
14. 3班スタンツ
15. 山のごちそう
16. 4班スタンツ
17. ハッピーフレンズ
18. あの青い空のように
19. チクサクコール

クロージングセレモニー（儀式）

20. 営火長採火
21. 分火
22. 班長誓いのことば
23. Believe 退場

点火のことば

この日は虚空蔵山の山頂より採火した聖なる火です。
この火を五感で楽しむ里山の夏、自然体験キャンプに参加した34名の友情、勇気、情熱、思いやりの心にかえて点火します。

Believe

作詞・作曲/杉本竜一

たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならず僕が そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
I believe in future
信じてる

もしも誰かが 君のそばで
泣きだしそうに なった時は
だまって 腕をとりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球を つつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが
大空に はじけてひかるだろう
I believe in future
信じてる

キャンプファイヤーの進行は、エールマスターとサブマスターが行いました。班のスタンツが終わったあとの的を得たコメントが素晴らしかったです。ボンファイヤーでは、4人のレク係が歌のリードをしました。練習時間はわずかでしたが、立派に役割を果たしてくれました。

ファイヤーの最後は Believe の1番をみんなで歌い、2番が始まると1班から順に退場しました。Believeは私達の思いを代弁してくれるキャンプファイヤーの締めくくりにふさわしい歌でした。

今年のキャンプは、プログラムに虚空蔵山登山と釣りを加え、日程を去年より延ばし3泊4日としました。1日延びた分、豊かな自然の中で余裕を持ってプログラムを進めることができました。反面、2泊3日の時よりホームシックにかかる子どもも多くなりましたが、みんなそれを乗り切ってくれました。

真夏の登山は子どもたちに嫌がられるのではないかと、暑さに耐えられるだろうか、熱中症にならないだろうか等等心配はつきませんでした。子どもたちはみんなで協力し元気に登ってくれました。頂上に登った達成感と素晴らしい景色が登山を楽しい経験にしてくれました。また登山の後、各班のチームワークも良くなってきました。



毎朝ラジオ体操終了後、西村先生から植物についての話がありました。虚空蔵山登山中も自然観察をしたりタムシバの葉っぱをかんだりしました。また、虫に刺された時は、ドクダミの葉をもんで汁をつけました。このような経験を通し、木の名まえや由来、食べられる植物や人間の力になる植物がいっぱいあること、

自然のすごさや素晴らしさを学び、いつもは感じられない自然の不思議さを感じたようです。

このキャンプでは子どもたちをお客さんにせず、最初から最後まで全ての活動に主体的に取り組むよう指導しています。テント張り、食事の準備・片付け、いかだこぎ、キャンプファイヤー等、キャンプ中の殆どの活動がみんなの協力なしにはできません。最初ばらばらだった班もチームワークが徐々に良くなり、いろいろな活動がより楽しくスムーズにできるようになりました。この経験を通し、協力すること、助け合うこと、進んでやることやチームワークの大切さを学んでくれたようです。

キャンプ場の施設はとても古くて不便です。遠くて暗くて汚いトイレ、短かすぎる10秒シャワー。毎日きれいなトイレを使い、思う存分お風呂に入ったりシャワーができる子どもたちには耐え難いものだったようです。しかし、災害等にみまわれ便利な生活ができない日が来ないとは限りません。「家の中にある物がない時、どうやって過ごしていくかよく分かった」という感想がありました。このような不便な経験をしていることが、大変なことが起こったときそれを乗り越える力となってくれるものと信じています。



ばく か しぜんたいけん けいけん い
3泊4日の自然体験キャンプでの経験を活かし、子どもたちが
りっば しゃかいじん せいちょう かがや はな
立派な社会人に成長し輝きを放ってくれること、またこの経
験が社会人になったとき、生きがいややりがいを持って心豊
かに暮らすために役立つことを祈っています。

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人メセナ SUN-CLUB 学びの森スタッフ一同